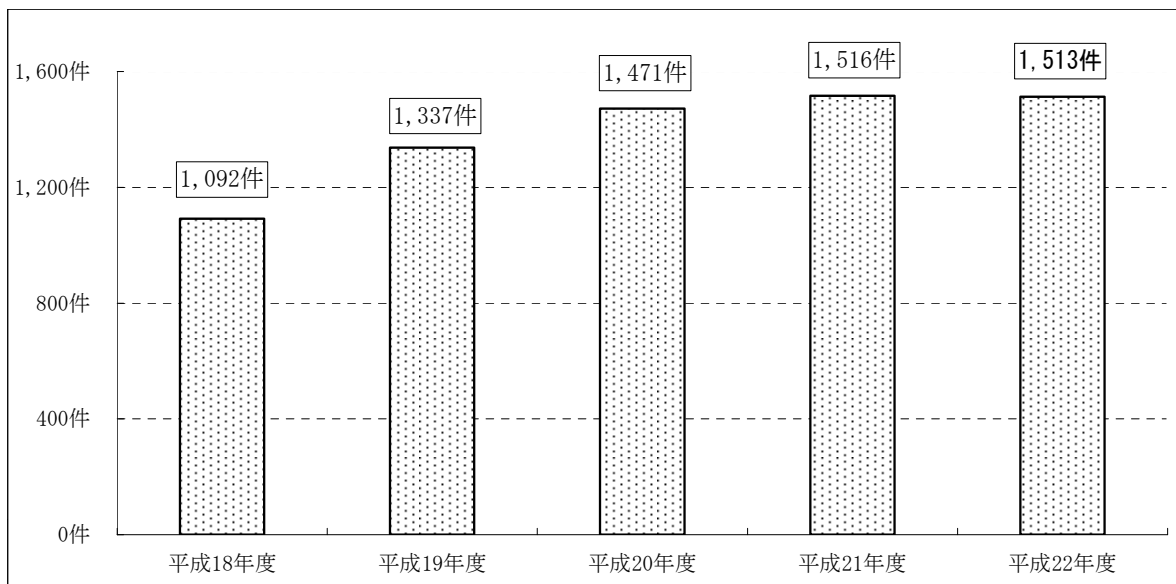


### (3) 「危害」に関する相談

- ① 「危害(\*)」に関する相談は過去5年間でみるとほぼ増加傾向にある。平成22年度は前年度とほぼ同数の1,513件の相談が寄せられた。(図-6)

(\*) 危害 : 商品・役務・設備等に関連して、身体にけが、病気等の疾病(危害)を受けたという相談

【図-6】「危害」に関する相談件数の推移



PIO-NET2010による平成23年5月31日現在の集計値

- ② 「危害」の原因となった商品・役務は、「医療」「理美容」「化粧品」など美容や美容医療に関するもの、及び「外食」「健康食品」など食品に関するものが多い。(表-6)

【表-6】「危害」に関する相談の商品・役務項目 上位5位(平成22年度) (単位:件)

	商品・役務項目	22年度	21年度	対前年度比	主な危害内容
1	医療	241	205	117.6%	美容医療や施術などによる、皮膚障害、熱傷、擦過傷・挫傷・打撲傷等
2	理美容	168	193	87.0%	エステティックサービスやパーマなどによる、皮膚障害、熱傷等
3	化粧品	86	122	70.5%	化粧品や染毛剤などによる皮膚障害等
4	外食・食事宅配	83	85	97.6%	外食などによる、消化器障害、熱傷等
5	健康食品	49	48	102.1%	ダイエット食品やサプリメントなど健康食品による、皮膚障害、消化器障害等